



The Tale of Genji

源氏物語の 実践

Jissen Women's University

講演会

2022年

7月16日(土)

13時

会場：実践女子大学渋谷キャンパス

展示

2022年

7月4日(月)

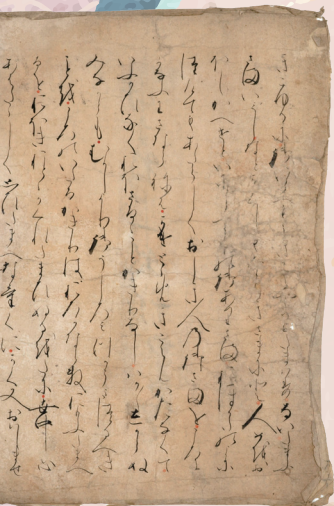
8月5日(金)

10時30分～17時

休館日：土曜日、日曜日

※7月10日(日)、7月16日(土)、7月24日(日)は開館

入館料：無料



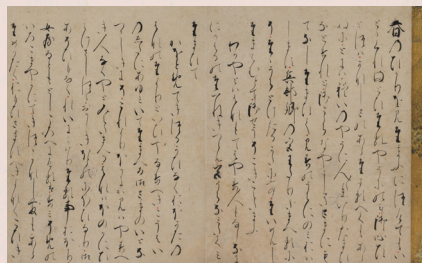
実践女子大学は、2018年度から私立大学研究ブランディング事業「源氏物語研究の学際的・国際的拠点形成」に取り組んできました。この事業では、これまでの文系的な視点にとどまらず、紙の光学的研究という文理融合の手法による研究、平安時代の装束復元のための研究などの先進的な取り組みによって、学祖下田歌子以来の本学の伝統である源氏物語研究をさらに発展させてきました。今回はその成果発信イベントを開催します。

展示では、実践女子大学が有する貴重な古典籍やそれらを活用した文理融合研究の成果を紹介するとともに、源氏物語に登場する装束が、現代のいわゆる「十二単」といかに異なるものであるかを、現代の儀礼に使われる装束と対比しながら紹介します。

また、講演会や体験会も実施し、研究成果の紹介だけでなく、五感を通じて源氏物語の世界を体感できるような内容となっています。

◆ 鎌倉時代の古典籍

源氏物語は、紫式部が書いた原本は現存せず、以後の時代に書き写されたものが「写本」として現代に伝わっています。今回の展示では、鎌倉時代に写されたとされる、伝藤原為家筆源氏物語「幻」や伝冷泉為相筆「須磨」を初公開するとともに、本学が有する貴重な古典籍の数々を展示します。



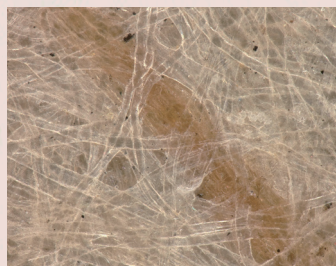
伝藤原為家筆 卷子本『源氏物語』幻の巻



『源氏物語』須磨の巻

◆ 紙の光学的研究

源氏物語の古典籍などに使われる鎌倉時代の紙は「打紙」という加工が施されており、江戸時代のものに比べ、密度が高く品質が良いものが増えています。一方で、江戸時代以降は印刷技術の発達により、和紙に米粉を混ぜることで表面を滑らかにする技法があることが紙の光学的研究の結果、明らかになりました。これにより明らかにできる、各時代における源氏物語制作の現場や社会的な背景など、源氏物語研究の新たな展開を紹介します。



鎌倉時代の和紙の拡大画像



江戸時代の和紙の拡大画像

◆ 現代装束の展示

平安時代の宮廷装束の復元に向けた研究を行う中で、源氏物語に登場する装束は、現代のいわゆる「十二単」とは全く異なるものであることが明らかになりました。今回は儀礼に使われる現代の装束を展示し、源氏物語に描かれた装束とどのように異なるのかをわかりやすく紹介します。



体験会 (7/10、16、24)

- 十二単体験 (10日、24日のみ)
源氏物語に関連する現代の装束を実際に体験
- お香体験
夏のお香である「荷葉」を体験
- マイクロスコープ体験 (10日、24日のみ)
文理融合研究を体験

講演会 (7/16)

源氏物語と実践女子大学について、様々な観点から講演を行います。

- ブランディング事業について 佐藤悟
- 平安時代の染色と色について 牛腸ヒロミ
- 源氏物語の世界 横井孝
- 十二単の着装実演 永井とも子

シンポジウム (7/10)

「古筆切研究の未来」

ブランディング事業でも実施した古典籍の光学的研究について、学術的なシンポジウムを行います。

共催：国文学研究資料館

※ 各イベントの開催時間・内容等の詳細は、ホームページをご確認ください。



実践女子大学
JISSEN WOMEN'S UNIVERSITY

渋谷キャンパス：〒150-8538 東京都渋谷区東1-1-49

https://www.jissen.ac.jp/branding_genji/

問い合わせ： jissen-genji@jissen.ac.jp

ホームページはこちら ▶

